すばらしかった文化祭

村民文化活動の発表の機会として行っております。――文化祭――今年も、春以来、着々と作品づくりに励んできた力作がせいぞろい、観覧者の目を楽しませてくれました。

民謡発表会も盛会で「踊る人、みる人」一体となって楽しいひとときをすごしました。菊花展の等賞結果を紹介します。

"ホー"あの人の作品かァー

こんどは、あなたも参加ください

▲ みごとな作品がズラリ菊花・盆栽展

◀踊り手も、みる人も、一体となって大盛況、民謡発表会

菊花展成績

総合

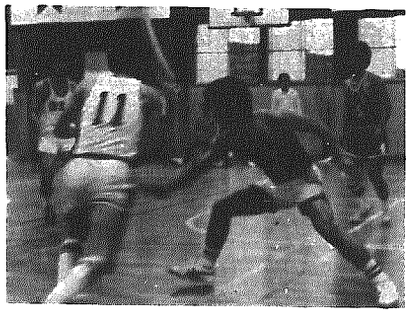
一位　堀越　信一
二位　由井　助松
三位　田中比古一
四位　小林平太郎
五位　池田　腴
六位　斎藤　榊
七位　真島　俊子
八位　藤田ミヨイ
九位　竹内　藤市
十位　佐藤　文治
十一位　阿部　元安
十二位　棚橋　直松
十三位　渡辺　テル

指定花

一位　由井　助松
二位　堀越　信一
三位　藤田ミヨイ

寒さに向って体力づくりを！

村民 バスケットボール大会



期日　十二月十七日
午前八時三〇分より
場所　岩中体育館
申込み　十二月九日正午まで公民館へ

参加チームの登録を受けつけています。ふるって参加下さい。

第5回 元旦マラソン大会

新しい年を迎えて――今年も健康で暮そう――と決意をこめて走る元旦マラソン。年々参加者も増え、今大会で五回を数えることになりました。

今から、体調をととのえるなどして、多数参加ください。

詳細にわたる競技方法、コースなどは、追って、回らんなどでお知らせします。

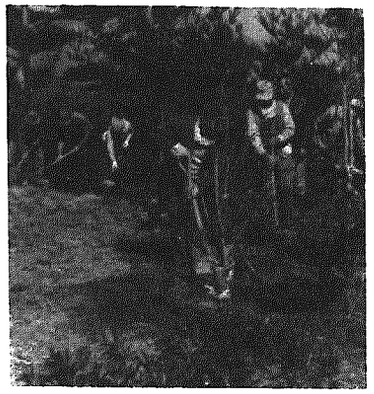
「さあ、あなたも参加しましょう」

村の話題

静閑荘の美化に一役 ～緑花会～

村の緑花愛好者で組織している緑花会では、老人憩の家静閑荘を利用する人達から自然の景観と草木の美しさを楽しんでもらおうと春以来、四回にわたって、周辺の環境整備作業を奉仕するなど美化活動を行ってきました。

先月七日には、会員が持ちよった、つつじの苗木、一二〇本を寄贈、その植つけ作業まで行ってくれました。



▲ つつじを植える会員のみなさん

何回もの整備によって、静閑荘の周辺はすっかりきれいになり、眼下の展望は前にもましてすばらしくなりました。

春には、汗を流して、植込んでいただいたつつじが芽を吹き、訪れる人たちの心をなごましてくれると思います。

貴重なつつじを寄贈するなど、これまでの会員みなさんの好意に対し、静閑荘をはじめ、関係者はよろこんでおります。

やったゾー 金メダル 玉木庚一君（岩室）

長野県、松本市で開催された、第十四回全国身体障害者スポーツ大会で新潟県代表として参加した玉木庚一君（岩室）は、ヤリの正確投げに出場、全国の強豪をものともせず、みごと優勝しました。

この大会は身障者の「国体」として知られています。

名実ともに日本一となった玉木君は――この金メダルは、私一人のものでありません、付添として同行してくれた竹内会長（村身障者協議会）はじめ、みなさんの励ましがあったからです。僕は幸せものです――と、話してくれました。

また、出場が決ってから側面的な支援をしてきた竹内一義会長は――地区予選の記録で入賞はできると思っていたが、まさか金メダルとは、努力すればできることを玉木君が実証してくれました。会員みんなのはげみにもなります――とまるで自分のことのように喜こんでいました。

おめでとう！　玉木君

▲ 喜びの玉木君と竹内会長

空き巣ねらい 泥棒は心のスキをねらっている

年末は、大掃除やお正月の支度などで、なにかと気ぜわしくなります。

空き巣ねらいは、そんな気ぜわしさの中の、ちょっとしたスキをねらっているのです。

「近所のお店だし、ほんのちょっとの買物だから……」と玄関のかぎをかけずに出かける――実は、これが危ないのです。というのも、空巣ねらいにとって、三分～五分もあれば"一仕事"できるからです。

いま、全国で三分に一件の割合で空き巣が発生し、その約半数が、かぎのかかっていない玄関や勝手口、トイレ、浴室の窓などから侵入しているそうです。常にかぎと心の戸締まりをお忘れなく。

歳時記 ▽▽▽▽ 師走 △△△△

「十二月のことをなぜ師走というのでしょうか？」という質問に、ほとんどの人が「先生まで走り出すほど忙しい月だから」と答えます。

しかし、どうもこの説、あまりあてにならないようです。昔の俳諧の本あたりには、たしかに「師家の馳せ回る月」と書いたものがありますが、それよりも「年果つ」とか「し果つ」すなわち、ことが終るという意味とする説の方が強いようです。

もっとも師走は、先生が走り回らなくても「ピーポーピーポー」と走り回るあの救急車やパトカーの音は、ふだんよりあわただしげです。

師走は交通事故、酔っ払いなどが増えるので、一一〇番は大忙し。その上、正月が近づくと、医師は走り回るどころか、休業が増えるので、なおさら救急車が走らせられるハメになるようです。

師走という言葉は、昔は、落ちぶれ果てるという意味に使われていたらしいですが、今、私たちが師走という言葉からは、ジングルベルの響き、クリスマスツリーで飾られた商店街の歳末風景や、ボーナスを手にして買物に出歩く人びとの姿、などを思いうかべます。

昔は師走といえば借金取りの話がつきものでしたが今年の師走はサラ金に泣く人がでなければいいがと気がかりな年の暮れです。